

## 総 会

### 2019年度定時総会を開催

2019年6月に「2019年度定時総会」を開催しました。会員の繁忙や参集する時間と経費等にかかる負担の軽減を図るため、2019年度の定時総会は、文化財建造物保存修理研究会会則第22条の2の規定に基づき、書面もしくは電子的方法にて開催しました。6月19日（水）付で定時総会の開催通知と議案書を正会員各位に送信し、6月28日（金）までに議決権行使書の提出を求めました。

審議事項は以下のとおりです。

- ・第1号議案：任期満了に伴う役員  
の改選について
- ・第2号議案：2018年度事業報告  
について
- ・第3号議案：2018年度収支決算  
報告について
- ・第4号議案：2019年度収支予算  
案について
- ・第5号議案：2019年度事業計画  
について

2019年6月1日現在の正会員数315名中、53名から議決権行使書の提出がありました。書面による議決権のなかったものについては、会長に一任するものとし、過半数以上の賛成を得て承認されました。

2018年度収支決算及び2019年度収支予算は本誌巻末にてご確認ください。



## 実施事業

### 研究会誌『文化財建造物研究／保存と修理』の刊行

2019年3月末日に、研究会誌『文化財建造物研究／保存と修理』Vol.4〔2019〕を刊行しました。

### 第5回 研究発表会を開催

2019年11月9日（土）に、国立文化財機構東京文化財研究所セミナー室において、「第5回研究発表会」を開催しました。当研究会単独での開催は4年目となります。

当日は57名の出席者がありました。

発表等の概要は次のとおりです。

会 場：東京文化財研究所

地下1階セミナー室

開催時間：10：00～16：00

〔基調講演〕

「復原第一主義への危惧」

藤井 恵介（東京大学名誉教授・当  
会会長）

〔研究・事例報告〕

1. 「重要文化財大村家住宅—主屋の  
復原整備を中心として—」

片桐 京司（（公財）文化財建造物  
保存技術協会副参事）

2. 「R.H. プラントンの檜野崎灯台旧  
官舎修復」

吉永 規夫（Office for Environment  
Architecture 代表）

3. 「旧国立駅舎の再築について—文  
化財建造物保存活用における新た  
な事業スキームの試み—」

上田 忠司（（株）竹中工務店設計  
本部伝統建築グループ副部長）

4. 「宝乗寺の耐震改修における補強  
方法の選定について—宝乗寺本堂

を事例として—」

森田 幹夫（（株）えむ設計代表  
取締役）

〔質疑応答、意見交換〕

司会・進行：平賀 あまな（編集委員）

研究発表会終了後に開催された情報交換会には、約20名の方々が参加され、にぎやかに情報交換と人的交流が行われました。



写真上：発表中の様子  
写真下：質疑応答の様子

## 現場ワークショップ

「現場ワークショップ」は、実際の保存修理工事現場において修理工事の状態を見学し、具体的な事例を通じて文化財建造物の保存修理に関し意見交換を行うことにより、会員の調査研究の向上に資することを目的としています。

### 第11回現場ワークショップ 黄檗宗萬福寺（京都府）で開催

日 時 2019年12月7日（土）

13：30～16：00

会 場 重文黄檗宗萬福寺法堂ほか  
4棟修理工事現場他

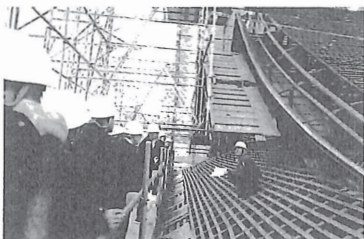
講義 「京都府周辺の棧瓦の発明と普及」平井俊行（当会幹事・京都府立京都学・歴史館副館長）

参加人数 34名

概要

萬福寺の伽藍配置には、創建期と同時代の中国建築の様式が表れており、日本における黄檗宗寺院の代表的な伽藍として、40棟の建物が重要文化財（附含む）に、境内は府指定史跡に指定されています。平成30年度から令和2年度までの計画で実施されている修理工事では、重文である法堂および4棟（東方丈附属の廊、西方丈、伽藍堂、鐘楼）の修理が行われています。

今回は、萬福寺様及び京都府様のご厚意により、修理現場主任の竹下弘展様、また鶴岡慶典様（当会監事・京都府）のご案内で修理現場を見学、引き続き別室にて、平井俊行当会幹事による「京都府周辺の棧瓦の発明と普及」と題するレクチャーが行われました。その後の意見交換では、修復技術やレクチャー内容に関する活発な意見の往還がなされました。



第11回現場WS（黄檗宗萬福寺）にて



第11回現場WS  
平井幹事のレクチャー風景

### 第12回現場ワークショップ 鎌倉文華館・鶴岡ミュージアム （神奈川県）にて開催（延期）

日時 2020年2月29日（土）  
13:00～16:00

会場 鎌倉文華館・鶴岡ミュージアム

\*30名様以上のご応募をいただきましたが、新型コロナウイルスの拡散防止を考慮し、やむなく延期としました。

諸状況を判断ながら、2020年度にあらためて開催の予定です。

### 文化財建造物保存修理 ワークショップ

「文化財建造物保存修理ワークショップ」は、文化財の修理技術や活用技術等に関する「文化財保存・復元展」（一般社団法人能率協会主催）の開催期間中に、保存修理事業の実際の紹介を通じ、保存修理工事や活用計画等にかかる今日的かつ具体的な課題等について、来場者も交えた幅広い意見交換を行うものです。

### 第5回文化財建造物保存修理 ワークショップを開催

歴史的建造物の修理にみる、いわゆる今日にいう伝統技術は、後世の修理の経験による蓄積や、その際の発見や知見によって成り立っており、現代の保存修理においても、それら伝統技術とともに当代の最新技術が応用されています。

今回は、伝統技術を継承・保存される技術者に、多様な修理手法の紹介と今後の課題等、事例を通して報告いただき、その考え方と方法について広く討論の場とすることを目的に開催しました。

日時 2019年7月26日（金）  
13:00～16:30

会場 東京ビッグサイト会議棟  
南展示棟内 特設会場

参加者 93名

〔開会の挨拶〕藤井 恵介 会長

〔事例報告〕（各発表30分）

1. 「国宝瑞巖寺本堂ほか7棟保存修理工事を終えて」酒巻 仁一（（公財）文化財建造物保存技術協会理事）
2. 「港区指定文化財旧協働会館の保存整備工事について—港区立伝統文化交流館としての活用—」  
「港区指定文化財旧公衆衛生院の改修工事について—港区立郷土歴史館等複合施設（ゆかしの杜）としての活用—」川上 悠介（港区教育委員会事務局教育推進部図書文化財課文化財係（港区立郷土歴史館学芸員）
4. 「岡田三郎助アトリエの移築保存について」清水 耕一郎（（株）アルセッド建築研究所取締役佐賀所長）

〔意見交換〕15:40～16:30

## その他

### 研究会ニュースの配信

研究会ニュースを、No.19からNo.23まで配信しました。